

伊丹ならではの特色ある教育

本市は、江戸時代に酒造りを基幹産業として町が発展し、市民文化が栄えた土地であり、多くの文人墨客が集い、「也雲軒」で俳諧に親しんだ。さらには、“東の芭蕉、西の鬼貫”と称される上島鬼貫の生誕の地でもある。現在でも、その精神を受け継ぐべく、日本三大俳諧コレクションの一つと称される「(公財)柿衛文庫」を有し、「ことば文化都市伊丹」の創造をめざした諸施策を推進している。

今後も、本市が持つ活発な市民力・地域力、固有の歴史・伝統文化、豊かな自然・風土、個性的な文化・社会教育施設群など、特色ある人的・物的地域資源を活用して、「ことば文化」や「なぎなた」をはじめとする芸術・文化・スポーツの振興など、「伊丹ならではの特色ある教育」を一層推進する。

1 ことば文化都市伊丹の創造

「ブックスタート事業」や「読書教育推進事業」をはじめ、「ことば科」や「ことば文化科」などの伊丹市独自の教科や「伊丹・本の杜ことば蔵まつり」「田辺聖子杯小学生百人一首大会」などの言葉に関する様々な催しを通して、「ことばと読書を大切にする教育」を推進する。

また、すべての市民のライフステージに応じた「ことば文化都市伊丹」の創造をめざすため、「伊丹のまちは大きなひとつの図書館」をコンセプトとする「伊丹・本の杜」構想の実現に向けて、その拠点施設である図書館本館「ことば蔵」等市立図書館と学校図書館等との連携協力を推進する。

2 地域の特色を活かしたスポーツ競技の振興

酒造業で栄えていた伊丹のまちを自衛するため設立された私設道場が、日本三大私設道場の一つと称される「(公財)修武館」である。ここで培われた「なぎなた」を市民共有の財産として、内外に発信するために、第9回全国高等学校なぎなた選抜大会の開催やなぎなた教室の充実に取り組む。併せて、「新伊丹市生涯スポーツ振興基本計画」に基づき、伊丹発祥の「いたっボール」等、地域の特色を活かしたスポーツの振興に努め、市内外に発信・普及する。

3 地域の特色を活かした芸術・文化活動の振興

本市の豊かな社会教育施設や文化財保護関係団体・図書館・博物館の市民ボランティアの力を活かした伊丹ならではの文化活動を推進する。また、全国レベルである本市の小学校ジュニアバンド・中学校吹奏楽部等が行う特色ある文化活動や高等学校におけるなぎなた部を始めとした全国レベルの部活動を支援する。

4 伊丹の歴史と伝統を活かした教育の推進

「過去」から「現在」へと、伊丹に連綿と続く教育の歴史をひもとき、先人の歩みに学ぶために、「伊丹市教育史学校教育編」の活用を進める。さらに、11月の文化財保護強調月間を中心に「歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業」等の事業を通して、国・県・市指定の数多くの史跡や有形・無形文化財を活用した教育を推進する。

5 市民力を活かした教育の推進

本市では、小学校区ごとの地区社会福祉協議会等、中学校区ごとのすこやかネット事業等、NPO等による市民活動、PTA活動等が活発に行われている。また、各校のPTAを中心とした学力向上委員会においては、子どもたちの家庭での生活習慣・学習習慣等の定着に向けた取組を行っている。さらに、ボランティアによる学校支援活動を充実し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを推進する。